

# 熊本地震における クラウド活用について

2017年 1 2 月 2 5 日 熊本県 西原村

#### 熊本県 西原村



**九州の村のなかで唯一人口が増加している村**で、市町村経済 指標ランキング(内閣府発表)で全国1位となる。

熊本市から東へ20km、熊本都市圏と阿蘇カルデラの間にある。 阿蘇外輪山の西麓に位置し、原野と森林が多い緑豊かな村で ある。阿蘇くまもと空港から村中心部まで10分。

#### ■ 村の人口・世帯数

人口 7,049人/世帯数 2,652世帯 (H28.4.16現在) ※6,750人 (△299人) /2,565世帯(△87世帯) (H29.11.30現在)





#### 地震及び被害等の概要:西原村

- · 4月14日(木) 21時26分 M6.5 震度6弱
- · 4月16日(土) 1時25分 M7.3 震度7

余震回数は4,425回(11/30)を越えて今なお継続中。

#### ■ 被害の状況

- ◇人的被害
- ◇ 家屋・建物被害
- ◇ 解体状況

**死者 8名 (関連死3名含む)** 11/30 **負傷者 56名 (内**重傷者18名)

全壊512棟 (20.7%) 半壊以上1,376棟 (55.6%) 発行数 2,473棟 (H29.11.30時点)

申請数 1,777棟 (97.3%)

※解体進捗(11/30現在) 1,729棟完了【内訳:公費解体888棟/自主解体841棟】

#### ■ 避難所

- ◇ **11月18日 避難所閉鎖(**避難者0名に伴う) ※ピーク時 公的(5ヶ所)**1,809名**(H28.4.17 20時)
- **仮設住宅** (H29.11.30現在)

※最大時は307戸に301世帯841名

◇**小森仮設団地 全312戸**(内訳:木造50戸/プレハブ262戸) 内273戸に277世帯735名が居住

◇みなし仮設住宅 村内外に167世帯467名が居住



# 被害状況 (家屋)















## 被害状況 (道路・農業施設・農地)















#### 復旧における初期の課題等

- 1 ライフラインである水道の早急な復旧
  - ◆仮復旧完了。本格的な復旧工事に着手
- 2 仮設住宅の早期建設 ※追加で10戸増設。11月上旬すべて完成
  - ◆仮設住宅整備に伴い、集会施設(みんなの家、談話室)の建設。12月上旬
  - ◆仮設団地内の自治会の設立
- 3 罹災証明書の発行・住家被害認定調査等の災害事務及び
  - 災害復旧復興に従事する職員の不足
  - ◆日常業務従事と災害対応業務従事の関連。派遣職員の確保が困難
- 4 地すべり等の二次災害への対応
  - ◆災害査定や関連復旧による対応の調整
- 5 特措法による復旧・復興に要する財源の確保



### 復旧・復興における課題等

- 1 災害公営住宅の早期建設
  - ◆建設用地の確保。早急な設計そして建設に着手。
- 2 集落再生 住家被害が甚大であった6地区が重点箇所
  - ◆被災地域の整備
  - ◆地域コミュニティの維持
- 3 災害復旧復興事務に従事する職員の不足
  - ◆膨大な事務量と継続される日常業務(他の自治体からの職員派遣も困難)
- 4 災害遺産の保存
  - ◆記憶の継承と断層や地物の保存
- 5 生活基盤・社会基盤の早急な復旧

県道・村道、大切畑ダム、農業基盤の復旧等

- ◆村道は、200ヶ所以上が被災。業者の不足等や発注数の激増による復旧の遅れ。
- ◆大切畑ダムの灌漑面積は、西原村から益城町、菊陽町に及ぶ 717ha ダム及び用水路(2系統:約4,400m)まで含めた県による早急な復旧
- 6 財源の確保と財政の精査
  - ◆災害関連事業の選択



#### 災害支援システムの導入の背景と効果

- 04/14 震度6弱 前震発生
- 04/16 震度7 本震発生
- 04/27 西原村にセールスフォースとシステムフォレストが訪問 ボランティアによるSalesforceの導入を決定(ライセンス無償提供)
- **04/28 2日間で罹災申請受付システムを構築**<br/>
  その後、機能拡張と受付運用のリハーサルを重ねる
- 05/01 り災申請受付開始
  - →同時並行で建物調査機能の設定開始 iPad活用トレーニング
- 05/03 建物調查開始(紙+iPad運用)
- **05/16** り災証明発行 ~05/26 ほぼ送付完了

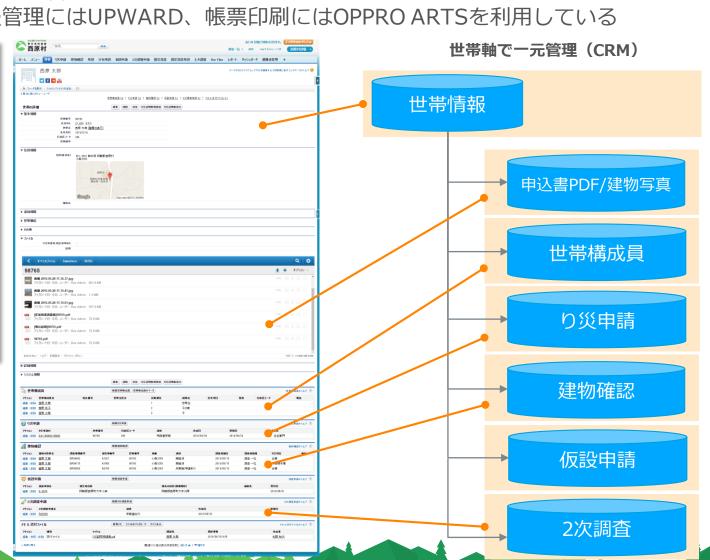


#### 災害支援システムの効果(世帯情報の一元化)

世帯情報と固定資産(建物)情報をSalesforceで一元管理する一方で申込書等のスキャンデータや現地写真等はboxに格納し世帯情報と紐づけている。建物の位置情報管理にはUPWARD、帳票印刷にはOPPRO ARTSを利用している

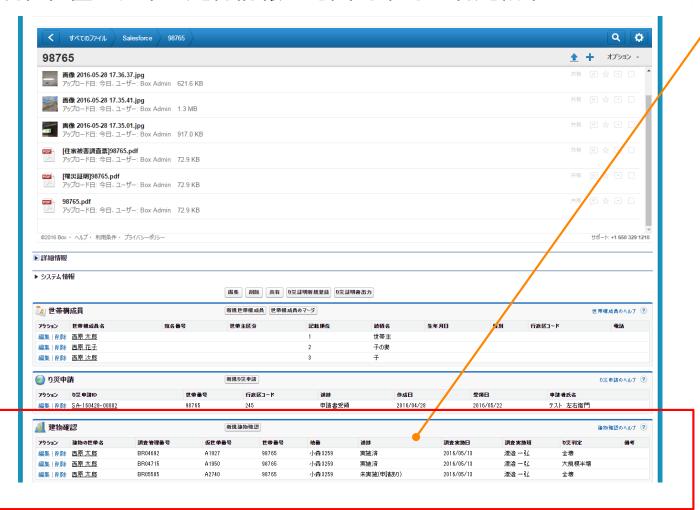


西原村罹災申請各種アプリケーション



### 災害支援システムの効果 (建物確認)

現在位置と世帯・建物情報を地図で確認。判定結果のみiPadに登録



#### 建物確認









### 災害支援システムの効果(調査写真)

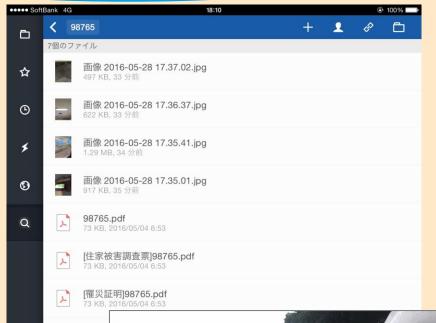
世帯や建物に紐づけて家屋写真を記録する。複数班で写真・判断基準共有も可能。





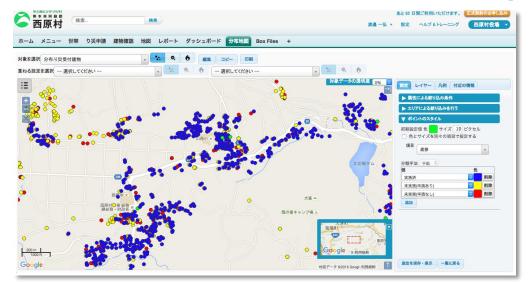
#### 建物写真・申込書PDF

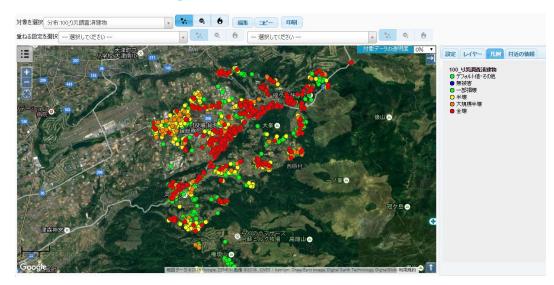






### 災害支援システムの効果(可視化・分析)









### 今後の展開について

